

JICA 研修「水資源の持続可能な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理」
に協力し、湖上観測を行いました。

JICA（国際協力機構）研修「水資源の持続可能な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理」の講義のひとつとして、「琵琶湖の水採取分析実習」を実施しました。

この研修は、公共財団法人 国際湖沼環境委員会が実施しているもので、今年度は9か国10名の研修生が来日しています。



滋賀大学では2006年に進水した調査艇「清流 III」を活用し、毎年 JICA 研修の講義の一つとして、湖沼観測の実習を行ってきました。



本年度も、9月8日（金）に、3名の教育学部学生と1名の教員（環境教育講座：石川俊之）が調査艇を活用し、湖沼観測の実演や、琵琶湖の特徴について講義を行いました。講義は主に英語を用いて行われました。教育学部学生3名は英語での説明に緊張しながらも、学部で学んだ湖沼観測の技能や生態学的知識を活用し、海外からの研修生との観測を無事に成功させました。

（文責：石川 俊之）